

## ご あ い さ つ

昭和56年に生涯教育の立場に立った「足利市の教育目標」を市民参加に基づいて設定いたしました。この「足利市の教育目標」は、市民の皆さんが家庭で、学校で、職場で、あるいは地域で目標を立て、自ら主体的に実践するためのよりどころとなるように構成されており、市民一人ひとりが自立し、広い社会性を身につけ、思いやりと生きがいに満ちた心豊かな市民となっていたいただきたいとの願いが込められております。

本市では、この「足利市の教育目標」の具現化を生涯学習社会の実現と位置づけ、推進してまいりました。

しかし、教育目標設定から15年以上が経過した今日、社会を取り巻く情勢は技術革新や情報化、人口の少子化や高齢化、国際化の進展などめまぐるしく変化してきています。

また、市民の生活意識や価値観の多様化、高度化も進み、本市のまちづくりも21世紀への一層の飛躍に向けて大きな転換期を迎えようとしています。

このため、足利市生涯学習推進委員会の委員皆様の御尽力によりまして、平成8年度から2ヶ年にわたり教育目標の見直しを行いました。見直しは、昭和56年設定当時の考え方を変えずに、社会情勢の変化によって変えなければならない点や、文字や表現において変更が必要なものを中心に行われ、従来为学校に依存した考え方から、家庭や地域社会の役割を今まで以上に重視した内容に改めました。

この見直し案がまとまるまでには、市役所内における生涯学習推進担当者会議をはじめ、民間団体の代表からなる生涯学習推進委員会や同検討会議メンバー等による会議を幾度も開催して議論を重ね、平成10年3月に見直し後の「足利市の教育目標」を冊子として発刊いたしました。さらに市民への浸透を図るため、ここに普及版を発刊するものです。

今後とも、この「足利市の教育目標」を市民皆さんのものとして生かしていただけるよう、一層の御協力をお願い申し上げます。

最後になりましたが、この見直しにあたりまして、貴重な御意見、お力添えを頂きました東京家政学院大学長 河野重男先生、上越教育大学教授 新井郁男先生をはじめ関係の皆様に対し、心からお礼を申し上げます。

平成10年7月

足利市生涯学習推進本部長 早川一夫  
(足利市長)